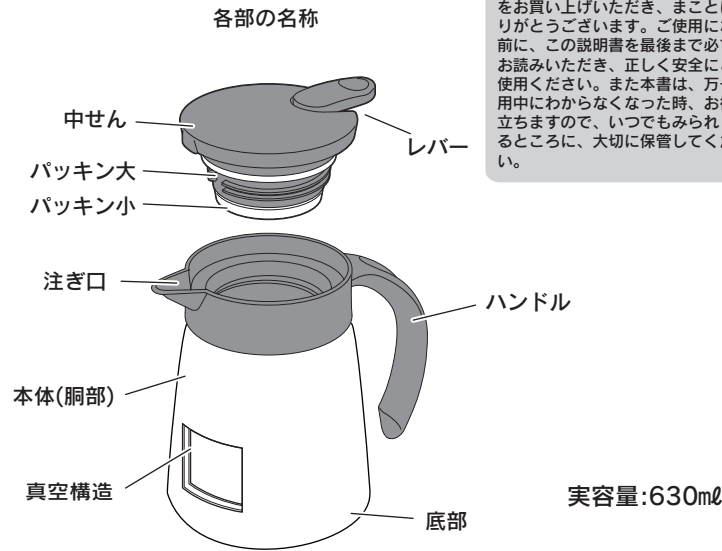


# 取扱説明書

## ステンレスポット

品番:STP603



このたびは、当社のステンレスポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前に、この説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。また本書は、万一ご使用中にわからなくなった時、お役に立ちますので、いつでもみられるところに、大切に保管してください。

### ご使用方法

※ご使用前にフタ・本体（胴部・内びん）を十分に洗ってください。詳しくは「お手入れ方法」をご確認ください。

**1** フタをはずす

フタを矢印の方向にまわしてははずします。

まわす

**2** 飲み物を入れる

飲み物の量は図の位置までにしてください。入れすぎると、フタを締めるときに飲み物があふれ出す原因となります。

内側の出た角より約1cmあける

約1cm

飲み物

**3** フタを締める

フタを矢印の方向にまわして、レバーとハンドルが揃う位置まで確実に締めます。

まわす

**5** 飲み物を注ぐ

①ハンドルを持ち、本体を立てた状態でレバーを押し下げます

②レバーを押したまま、ゆっくり傾けながら飲み物を注ぎます。

**6** 注ぎ終わり

①レバーを押したまま、本体を立てた状態に戻します。

②レバーをはなします。

**注意**

※注いだ後、本体を傾けた状態でレバーを離すと、フタ内に飲み物が残り、使用中に漏れて、やけどやものを汚す原因となります。

フタ内に飲み物が残る

<断面図>

### 必ずお守りください



#### 警告

- 飲み物の保温、保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。(故障や事故の原因となります。)
- お子様だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところでは使用しないでください。また幼児の手の届く場所には置かないでください。いたずらにも注意してください。(やけど・けがの恐れがあります。)
- ストープやコンロなど火気のそばに近づけないでください。また直射日光の当たる場所、屋外で使用しないでください。(変形や変色の原因となります。)
- 倒したり、落としたり、ぶつけたり、製品に強い衝撃、振動を与えないでください。(保温・保冷効果が低下するなど故障や製品が破損する恐れがあります。)
- お湯を入れる際、少なめにに入れてご使用ください。入れすぎると内圧で内容物が吹き出す恐れがあります。(やけど・けがの恐れがあります。)
- お湯を入れた直後は、数十秒おいてからフタをしてください。ワンタッチレバーを押した際、内圧で内容物が吹き出す恐れがあります。(やけど・けがの恐れがあります。)
- ハンドルを持ちワンタッチレバーを押しながら、少しずつ傾けながら注いでください。(傾け始めてからワンタッチレバーを押すと内容物が漏れてやけどやものを汚す原因となります。)

- コップなどに注ぎ終わったら平らな安定した場所に置いてください。(漏れて、やけどやものを汚す原因となります。)
- 車内や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。(漏れて、やけどやものを汚す原因となります。)
- ポットは転倒させたり、ゆすったりしないでください。また、持ち運びする際はハンドルを持ってください。内容物が漏れる恐れがあります。(漏れて、やけどやものを汚す原因となります。)
- 熱いやかんなどを口金のあてないでください。(転倒して、やけど・けがなどの危険があります。またキズや変形の原因となります。)
- フタを確実に締めてご使用ください。(締め方が不十分だと、漏れて、やけどやものを汚す原因となります。)
- 火にかける、磁器調理器を使用するなどは絶対にしないでください。(火災ややけどの原因となり大変危険です。)
- 絶対に修理・分解・改造は行わないでください。(故障や事故の原因となります。)
- 飲み物を入れた状態で長時間放置しないでください。(腐敗や変質の原因となります。)
- お茶などはお早めにお飲みください。(長時間放置するとお茶の色や味が変わります。)
- お茶・コーヒーを入れた後は必ずお手入れをしてください。(飲み物が出なくなる原因となります。)

- 大きな氷を入れる場合は押し込み小さく砕いて入れてください。(キズや漏れの原因となります。)
- 缶ジュース・缶ビールなどを容器ごと入れないでください。(変形し、故障の原因となります。)
- アルコール類は入れないでください。
- 次の物は絶対に入れないでください。

#### お手入れの方法

- 本体（胴部）  
お湯で薄めた食器用洗剤を柔らかい布に含ませて、回く絞りを、汚れを拭き取った後、柔らかい布でからぶきをするとステンレス独特の美しい輝きをいつまでも保つことができます。
- フタ  
バックシを取り外して、お湯で薄めた食器用洗剤に浸した柔らかいスポンジでお洗いくさい。その後、洗剤が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

#### お手入れ上のご注意

- 煮沸はしないでください。(熱により変形し、漏れてやけどやものを汚す原因となります。)
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。(熱により変形し、漏れてやけどやものを汚す原因となります。)
- 本体・フタの丸洗いや湯け置き洗いはしないでください。(すきまに水が浸入して、漏れてものを汚したり、サビや保温・保冷不良の原因となります。)

- ドライアイスや炭酸飲料など。(内圧が上がり、内容物が吹き出る恐れがあります。)
- ※牛乳・乳製品・果汁など。(腐敗や変質の恐れがあります。)
- ※味噌汁・スープ等の塩分を含んだもの。(サビの恐れがあります。)
- ※果肉・お茶の葉など。(つまる、漏れるなどの原因となる恐れがあります。)

- 内びん  
お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジブラシに含ませて洗い、十分乾燥させてください。
- ※汚れなどが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにしていると臭いが発生する場合があります。その際はしっかりとお手入れしてください。
- ※臭いになる場合には、お湯で薄めた食器用洗剤を柄の付いたスポンジに含ませて回か洗い、十分に乾燥させてください。

- シンナー・ベンジン・金属たわし・磨き粉・さらし粉・クレンザーは使用しないでください。(キズやサビなどの原因となります。)
- 塩素系漂白剤は使用しないでください。(サビや故障の原因となります。)
- フタのバックシはお手入れ後必ず取りつけてください。
- 長時間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させ、湿気の少ない場所に保管してください。

ポットの内びんにサビのような赤い斑点やザラザラしたものが付着してしまった場合には

- サビのような赤い斑点が出来た場合  
水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、やわらかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。
- ザラザラしたものが付着した場合  
水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたるま湯を本体に入れて、フタを取り付けず、3時間ほど放置した後、やわらかいスポンジなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

#### ドリッパーご使用上の注意

- ドリッパーをご使用の場合は転倒などに十分気を付けてご使用ください。
- ドリッパーはサイズによって一部使用できないものもございます。